

自民の集会で訴えた

自民党千葉県連・元幹事長 金子和夫さん

最近、千人ぐらいの自民党の集まりで話す機会があった。私はこういいました。

「このなかで戦争が好きなのは手を挙げてください。だれも手を挙げませんでした。私は「そうでしょう」と。「もめごととは外交で決するものです」と結びました。

いま、集団的自衛権が使えるよう憲法解釈を変えると、安倍さんが言っている。

ばかいうんじゃない。それ

て日本がまた戦争ができるようにすることです。本当にそんなことをやりたいのなら、憲法9条を変えて、「一億玉砕」をする覚悟をして、おやりなさい。

自民党の中で「戦争ができる国」への転換に対する批判が弱い。とくに、戦争体験のない世代が勇ましいことを言っている。

私は、16歳で陸軍に志願

して、南方戦線でさんざん地獄を見ました。2度、乗った船が撃沈され、上陸した島では食料がなく、いものつるでしのいだ。栄養失調や病気で戦友はばたばたと死に、いま当時を語れる人間はほんの一握りです。私は88歳になりましたが、戦争の悲惨さと憲法9条の値打ちは体の続く限り話していきたい。

(2014/6/29付「しんぶん赤旗」)

日曜版から文章のみ転載)